

いばらき

No.251

令和5年(2023年)5月

市議会だより



安威川沿いの桜並木(三咲町)

目次

市長の施政方針に各会派が代表質問	2
市議会のごき	5
一般会計予算質疑	8
3月定例会議決結果	12
可決された意見書	14
1月臨時会議決結果	14
2月臨時会議決結果	14
議会構成・会派構成	15

3月定例会

令和5年第3回定例会を3月1日から24日までの24日間の会期で開催しました。

この定例会では、市長から施政方針の説明が行われ、これに対する各会派の代表質問を行うとともに、「令和5年度大阪府茨木市一般会計予算」などの議案、意見書等を審議しました。

編集 / 議会広報委員会 発行 / 茨木市議会
電話 (072) 620-1670 FAX (072) 623-7591
https://www.city.ibaraki.osaka.jp/shisei_info/gikai/index.html



スマートフォン等で読み取ると市議会ホームページへアクセスできます。

市長の施政方針に 各会派が代表質問

3月1日に市長の施政方針の説明が行われ、その際、市長の隣で手話通訳が実施されました。

3月3日、6日に行われた施政方針に対する各会派の代表質問の主な内容は次のとおりです。



上記二次元コードから録画配信をご覧いただけます。

問 マイナンバーカードと健康保険証の一体化について、国会ではカードが無くても代替物が発行され医療を受けられるとの答弁があったが、このような情報は市

国のマイナンバーカード運用への意見

大嶺さやか (質問者)
朝田 充 畑中 剛

日本共産党



答 彩都バス輸送協議会において、モノレール彩都線の廃止区間の代替手段として、彩都西部地区から東部地区のバス輸送を検

問 彩都東部地区に工場や物流センターの立地が進み、各企業が運行する通勤バスにより、駅周辺が混雑している。早急に交通政策を見直すとともに、駅を拠点とする市内のバス交通網のあり方を検討する時期ではないか。駅前以外の場所に交通結節点を設け、市内を縦横に移動できることで暮らしや観光を発展させるようなまちづくりに取り組みべきと考えるがどうか。

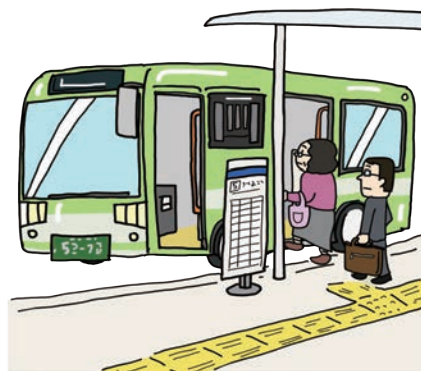
交通政策の見直しを

答 カードが無くても医療が受けられることの周知については、国と連携しながら適切に対応していく。交付率を踏まえた交付税の算定については、本市への影響等について注視していく。

民に周知すべきではないか。また、国はカードの交付率により地方交付税に差を設けるとしているが、このような問題のある仕組みはやめるよう、国に意見すべきではないか。

問 現政権が最新鋭の兵器に税金をつき込み、自衛隊と米軍が一体となって軍事演習を行っていることは、憲法9条の趣旨を逸脱している。また、5年間で43兆円に達する防衛費に関しては、世論調査でも反対の声が多く、軍事費を確保するための増税はやめるべきと考える。これらのことについて、市の認識はどうか。さらに、

国政・府政に対する認識は



討するとともに、進出企業による共同バスの運行を検討するなど、駅周辺に大きな影響を与えないようバス輸送計画を検討している。また、総合交通戦略の見直しに当たったの現況調査や将来予測等を踏まえ、交通事業者とも連携を図りながら、適切な交通ネットワークを検討していく。

府のカジノーR計画は、軟弱地盤に高層建築物を建てることの安全性など多くの問題があると考えられており、公的事業として進めるべきではなく、計画中止を府に意見すべきと考えるがどうか。

答 防衛費等の国政に対する認識について、市としての見解は差し控える。また、国政やR計画に対し、市として意見を述べ考えるはない。

自由民主党・絆



- 上田 光夫 (質問者)
- 福丸 孝之
- 永田 真樹
- 塚 理
- 下野 巖

JR・阪急両駅前再整備のデザインは

問 JR 茨木・阪急茨木市両駅の駅前再整備については、多額の公金を投入すると想定されることから、次世代にも評価されるクオリティとなるようデザインにこだわるべきであると考ええる。建築コンペを実施するなど、作家的性がある施設をめざし、ありきたり

なハード整備にならないよう工夫してはどうか。

答 駅前という公共性の高い立地においては、デザイン面やしつらえの工夫が必要であると認識しており、今後、整備の進捗に応じて、魅力ある都市空間の確保ができるような方策を検討していく。



JR 茨木駅西口周辺 (西駅前町)

誘致病院の緑地環境確保を

問 誘致病院については、立地が阪急茨木市駅前となることから、病院機能もさることながら周辺環境との接続エリアの工夫が重要となる。そのため緑地環境を十

分に確保する必要があると考ええるがどうか。

答 事業者候補者からは、関係法令等や用途地域の要件を踏まえ、必要な緑地面積を確保しつつ、積極的な緑化に努め、潤いのある外部空間を創出する旨の提案が出ている。

広い視点での多文化共生促進を

問 多文化共生について、引き続き外国人住民等の居場所づくりなどの取り組みを進めるとのことだが、多文化共生に必要なのは、互いの文化の相互理解であると考ええる。弱者支援という側面もあるが、それだけでは本来持っている可能性を狭めると考える。世界的激動期にある今、地方自治体こそが国際交流や異文化交流を促進し、対立する人間の感情を緩和させることができると考えており、広い視点で取り組んでいく必要があると思うがどうか。

点で事業に取り組むことが必要だと考えている。

「共創」のキーパーソンは

問 春日丘高校出身の現代美術家であるヤノベケンジ氏は、平成21年に大阪文化賞を受賞するなど、現代美術家として最前線で活躍していることから、まちの「共創」に必要なキーパーソンの一人と考えるがどうか。

答 「共創」とは、主体的な活動により、自らの可能性や創造性を発揮し、互いに共感し合い、また、その活動同士が組み合わせられることで新しい価値が生み出されることと捉えており、ヤノベケンジ氏も本市に関わる一人として、共創のキーパーソンであると考えている。

アトリエMaruの評価と今後は

問 「アトリエMaru」事業は、障害のある、ないに関わらず、美術を通して場を共有し、一人一人がこれまでの価値観にとらわれず、新しい発見を楽しみ、好

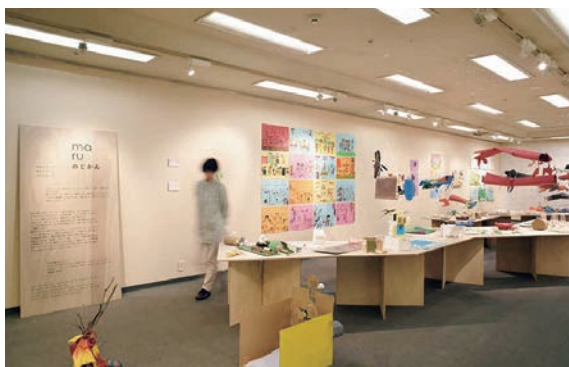
次頁へつづく

市議会
だより

前頁つぎ

大きなことを見つけてあげることができ、本事業は、応募者数も多く、参加できない方もいたとのことである。障害の有無に関わらず、子どもの居場所として、今の時代に求められる事業と考えるが、本事業の評価と今後について、どのように考えているのか。

答 障害の有無に関わらず、児童・生徒の創作活動や発表の機会を確保することで、文化芸術活動を通じた社会参加の促進が図れたものと評価している。今後については、参加希望者のニーズ等を検証し、取組手法を検討していく。



展覧会「maruのじかん展」(茨木市民ギャラリー)

大阪維新の会



円藤こずえ (質問者)

岩本 守 萩原 佳

長谷川 浩 大野 幾子

少数派の意見への向き合い方は

問 第5期次世代育成支援行動計画の策定に向けて調査を行うとのことだが、「土日一時預かりを利用したい」、「出産退職後の復職相談の受け皿がない」等、これまでも出た少数派の意見が何年も放置されている。このような意見には今後どのように向き合っていくのか。

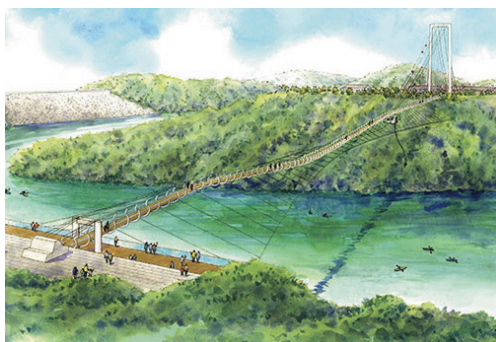
答 緊急度などを考慮しながら、優先順位を検討して施策を展開している。今後も、市民の声を受け止め、施策のさらなる充実を図っていく。

ダムパークいばきたつり橋周辺整備は

問 ダムパークいばきたの整備について、公園内に日本一長いつり橋の建設が予定されているが、渡った先には何の施設もない

とのことである。渡った先に簡易トイレしかないという状況では、多くの観光客やリピーターを生むことは難しいと考える。以上の点について、市はどのように考えているのか。

答 現地の地形条件から、用地及び上下水道等の機能の確保が難しく、開通当初の段階においては、大規模な施設整備は難しいと考えている。今後、利用状況や利用者の声に応じて施設整備ができるよう、事業者と協議していく。



ダムパークいばきたつり橋の完成イメージ図
※画像は当初のイメージ図です。今後の協議により、一部変更の可能性があります。

中核市移行の検討を

問 府内で、中核市へ移行できる条件が整っているにも関わらず移行していないのは本市のみで

ある。中核市になれば独自に保健所を設置することも可能となり、コロナウイルスの感染症法上の分類が2類相当から5類へ変更されようとしている今、中核市への移行について具体的に検討する時期になったと考えるがどうか。

答 移行により一定のメリットは想定されるものの、既に本市に保健所が所在するメリットがある一方で、財政負担や人員面などの課題が多いことから、現時点では慎重に考えている。移譲事務や財政面等の基本的な整理に加え、コロナウイルスの感染症法上の分類変更の影響も踏まえ、今後も総合的な見地から検証していく。

学校給食のアレルギー対応や無償化は

問 学校給食について、一人も見捨てない施策とするため、アレルギー対応はきめ細かに対応していくべきと考えるがどうか。また、他市では学校給食の恒久的無償化を図ることであるが、本市では無償化についてどのように考えているのか。

答 アレルギー対応については、安心・安全な学校給食の提供

市議会のうごき

1月	10日	議会広報委員会
	11日	幹事長会
	12日	北部地域整備対策特別委員会 行政視察（静岡県伊東市、 三島市）
	13日	
	17日	議会運営委員会行政視察 （愛知県刈谷市、小牧市）
	18日	
	25日	市民会館跡地等整備対策特別 委員会
	26日	北部地域整備対策特別委員会 議会運営委員会
	30日	市街地整備対策特別委員会 本会議
	31日	幹事長会 議会運営委員会
2月	6日	本会議（初日） 選考委員会
	7日	本会議（2日目） 選考委員会
		本会議（最終日） 選考委員会
	8日	幹事長会 議会運営委員会 議会広報委員会
	24日	幹事長会 議会運営委員会 正副委員長会
	3月	1日
3日		本会議（2日目）
6日		本会議（3日目）
7日		本会議（4日目）
8日		本会議（5日目）
9日		本会議（6日目）
10日		本会議（7日目）
14日		民生常任委員会 建設常任委員会
15日		民生常任委員会
16日		文教常任委員会 総務常任委員会
17日		文教常任委員会
22日		幹事長会 議会運営委員会
24日		本会議（最終日） 幹事長会

答 阪急茨木市駅高架沿いの市道
双葉町中原線の一方通行区間
を一部対面化することで、交通の
分散を図ることとしている。また、
現在、府道枚方茨木線をはじめ、

問 病院誘致の予定地周辺は道路
が狭く、一方通行の部分もあ
る渋滞多発地帯である。誘致に伴
い、府道枚方茨木線の整備を府に
働きかける等、周辺道路の渋滞緩
和策を今から検討する必要がある
と思うが、市の考えはどうか。

誘致病院周辺道路の渋滞対策を
に向け、国・府の食物アレルギー
対応マニュアルに基づき、適切に
対応している。恒久的な無償化に
ついては、現在のところその考え
はない。



府道枚方茨木線と高瀬川通りの合流地点（双葉町）

阪急茨木市駅周辺の交通実態の調
査・分析を進めており、具体的な
渋滞対策を進めていく。

公明党

河本 光宏（質問者）
岡本 吉郎 大村 卓司
青木 順子 松本 泰典
坂口 康博



今後のコロナウイルス感染症 対策は

問 国は、5月8日から新型コロナ
ウイルスの感染症法上の分
類を2類相当から5類に引き下げ
ると決定した。分類の変更により
対策が大きく変わることや、世界
的にさまざまな変異株が流行して
いること、また、後遺症などの懸
念もあり、今後を不安視する声も

ある。このような声に、市はどう
対応していくのか。

答 市民から相談があった場合に
は、保健師等の専門職が対応
するとともに、各医療機関や、府
の「新型コロナ受診相談センター」
を案内するなど、適切な対応に努
めている。今後も国の動向を注視
しつつ、市民への適切かつ迅速な
情報提供に努める。

物価高騰への支援施策は

問 物価高騰の中、支援策として
行ったプレミアム付商品券
や小学校給食の無償化は特に市民
に喜ばれている。プレミアム付商
品券は、今後も継続して実施する

次頁へつづく

前頁へ

のか。また、市税収入の増加見込みや社会情勢等を考慮し、小学校給食を恒久的に無償化してはどうか。

答 プレミアム付商品券については、社会経済状況や市内事業者等の現況を勘案した上で、必要に応じて実施する。また、小学校給食の恒久的な無償化については、現在その考えはないが、引き続き、社会情勢を見極めながら、必要に応じて支援を検討していく。



令和4年度エール茨木プレミアム付商品券

誘致病院の小児救急体制は

問 本市の地域医療資源調査分析報告書において、小児医療を支援する体制として、「現在の初期小児救急医療提供体制を維持し

つつ、子どもの急な病気等への対応、適切な受療行動など必要な知識の普及・実践を推進する」等の記載がある。誘致病院には、小児救急とともに深夜や休日の応急診療についても市民の強い期待があると思うが、市の考えはどうか。

答 小児初期救急（※1）については、三島二次医療圏における広域での対応を基本としており、誘致病院では二次救急医療（※2）体制が原則となる。なお、小児救急体制については、市内二次救急医療機関等との連携・役割分担などについて、事業者候補者と協議、調整していく。

平和への取り組みは

問 ロシアのウクライナへの軍事侵攻等で価値観等の違いが露呈したと思うが、市の平和への思いと具体的な取り組みはどうか。また、本市が非核平和都市宣言を行っていることを踏まえた考えや、新たな取り組み等はあるのか。

答 ウクライナへの軍事侵攻後、ロシア連邦大統領に対して抗議文を送付した。引き続き、非核平和都市宣言の理念に基づき、核兵器の不使用と戦争の一刻も早い

よく使われる議会用語

定例会	条例で定める回数だけ必ず開かなければならない会議のことをいいます。茨木市議会の場合は、年4回、3・6・9・12月に開かれることになっています。
臨時会	定例会以外に必要な場合、その事件についてのみ審議するため招集される会議のことをいいます。
議案	議会の議決を要するすべての案件をいいます。議案には、市長から提出されるものと、議員から提出されるものがあります。
質疑	議案などについて、不明確な点や詳しく知りたい点を市長などに問いただすことをいいます。
表決	議案などについて、各議員が賛否の意思を明らかにすることをいいます。この結果、賛否のどちらかに議会の意思が決まることを議決といいます。

終焉を、市民とともに発信していく。

多様性が尊重される社会の構築を

問 多様性を認め合い、尊重される社会の構築について、市は人権の観点からはどのように考えているのか。また、社会に根付いていくことが肝要であると考えますが、方向性など、実現するための具体的な考えはあるのか。

答 一人一人がかげがえのない存在として尊重され、誰も

が個性や能力を生かして自己実現を図ることのできる社会を構築することが必要であると認識している。それぞれの個性や価値観、生き方等の違いを認め合い、多様性を尊重することを、さまざまな人がつながり合う日常の人間関係の中で体得し、行動において実践できることをめざして取り組みを進めていく。

発達状況に応じた支援は

問 国の調査では、通常学級に在籍する小・中学生の8.8%に、学習面や行動面に困難のある発達

（※1）初期救急（一次救急）：主に自力で来院する軽症患者への夜間や休日の外来診療

（※2）二次救急：入院・手術を必要とする重症患者への診療、応急処置及び救命救急医療機関への紹介・移送



すくすく親子教室 (こども健康センター3階)

障がいの可能性があることが分かり、個性に応じた支援策の充実が課題と指摘されている。本市においては、集団療育や個別療育について、子どもの特性や状況に応じた十分な対応ができる環境にあるのか。

答 療育の入口として、小集団で療育を行う「すくすく親子教室」や、「あけぼの学園」を含めた2か所の児童発達支援センター、個別療育の委託事業所をはじめ約50か所の事業所があり、さまざまな取り組みを行っている。また、保護者向けの事業所説明会や事業者向けの研修会等も実施し、連携を深めながら療育全体の充実を図っている。

いばらき未来の会



稲葉 通宣 (質問者)
西本 睦子 安孫子浩子

重層的支援体制整備の進め方は

問 社会情勢の変化により複雑化・複合化した生活課題に対し、世代や分野を超えた支援体制を構築する「重層的支援体制」整備事業の取り組みを進めることを期待している。これまでの課題であった参加支援事業や地域づくり事業についてはどのように進めていくのか。

答 参加支援事業と地域づくり事業は密接に関連し、また、両事業とも地域との関係性の構築などが重要であることから、両者を有機的に連動させる仕組みの構築を進めていく。

児童遊園の今後の対応は

問 公園の人と人をつなぐ役割や必要性が高まる中、大人向けの健康増進を図る器具を設置するなど、幅広い世代が利用できる工夫をしていることを評価す

る。一方で、高齢化が進む地域では、児童遊園の地域管理が難しくなってきたり、市として今後の対応を検討するべきと考えるがどうか。

答 地域にも協力いただきながら、その維持管理に努めているところだが、高齢化が進む地域などで課題があることは認識しており、現在、地域を対象に調査をしている。



公共交通のあり方と移動支援は

問 本市においても、年々高齢者の免許返納が進んでいるとのことだが、誰もが安心して暮らせるまちづくりに移動手段の確保は欠かせないと考える。本市の中長期的な公共交通のあり方や次年度の移動支援の取り組みについて、

どのように考えているのか。

答 高齢化や生活様式の変化、技術の進展等に対応した、より効率的な移動手段が求められており、利便性のみではなく、経済性や持続性も重視し、交通事業者と連携した検討が必要であると認識している。次年度は、総合交通戦略の見直しに当たり、現戦略の進捗確認やデータ収集を行うとともに、市民と意見交換する機会も設けたいと考えている。

会議録を閲覧できます

市議会では、本会議の会議録を定例会、臨時会ごとに発行しています。市役所南館1階の情報ルームや各市立図書館、ホームページで自由に閲覧できますので、ご利用ください。
なお、3月定例会の会議録は、5月下旬に発行の予定です。

<https://www.kensakusystem.jp/ibaraki-s/index.html>



スマートフォン等で読み取ることができます。

第3回定例会 一般会計予算質疑



令和5年度一般会計予算に対する質疑を行いました。
主な質疑内容は次のとおりですが、誌面の都合上、質疑の一部しか掲載できません。詳しい内容は、市議会ホームページ等で公開予定の会議録をご覧ください。(5月下旬予定)



上記二次元コードから録画配信をご覧いただけます。



答 府警本部との協議においては、公園への円滑な入場や交通に与える影響を考慮すると、ま

問 ダムパークいばきた来園者の円滑な入場や安全確保のため、府道茨木亀岡線と茨木箕面丘陵線交差点の信号機設置に向け協議をしていることだが、周辺住民の生活環境の変化にも配慮した交通処理や安全対策も必要だと考える。生保地区の住民は、生保地区への入り口部である交差点に信号機の設置を要望されているが、現在の協議状況はどのようになっているのか。

会派に所属しない議員
辰見 直子

ダム公園周辺地域へ信号機設置を

ずは茨木箕面丘陵線との交差点における信号機設置を優先すべきとのことである。生保地区との交差点についても、地域住民の安全安心な生活環境確保の観点から、引き続き、府警本部へ設置を要望していく。

公明党
岡本 竜郎

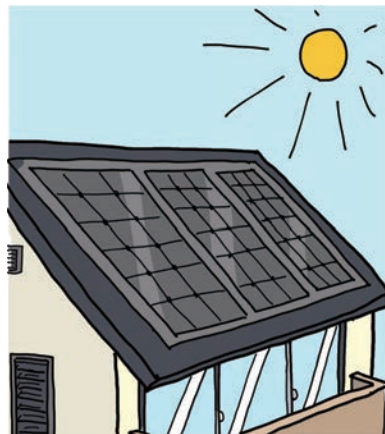



太陽光発電事業に係る条例の制定を

問 今後、長期的な脱炭素に向けた再生可能エネルギーの普及の必要性を考えれば、太陽光発電事業の実施が自然環境、生活環境及び景観その他の地域環境に与える影響に鑑み、太陽光発電施設の設置から維持管理、そして廃棄にいたるまで、太陽光発電事業の全般について、地域環境保全や災害の発生を防止することなどを入れ込んだ条例の制定が必要であると考えられるかどうか。

答 今後実施予定の再生可能エネルギーの導入可能性調査や市民意向調査の結果等を踏まえ、導入にかかる課題などを整理し、支援策を検討するとともに、条例等

による制限の必要性について研究していく。



大阪維新の会
長谷川 浩




スピード感ある駅前再整備を

問 阪急茨木市駅西口周辺整備において、耐震性に問題のあるソシオの建て替えの結論が待たなして迫っている中、西口と東口の交通機能の分担については検討中、周辺整備全体についても、今後の取り組みや検討により具体化を図るなど、計画全体にスピード感がないように思うが、市の考えはどうか。

答 「人が中心の歩いて楽しいまち」をめざし、市の思いと権



利用者の皆さまの思いが重なり、共によりよい駅前づくりに向けて歩んでいく。また、今後の都市計画決定等の手続きに向けて一体的な駅前整備が図られるよう、スピード感を持って取り組んでいく。

会派に所属
しない議員
山本 由子

本市のジェンダー平等政策は

問 市職員のうち、課長級以上の管理職に占める女性の割合は増えているが、いまだ目標値の20%を下回っているとのことである。目標達成のためどのような取り組みを行っているのか。また、男性の育児休業について、さらに

多くの職員が取得するためにはどのように取り組んでいくのか。

答 課長代理級以下では女性職員が増加傾向にあり、意欲と能力のある女性職員を今以上に登用していく。また、採用における女性割合も高い水準を維持しつつ、キャリア形成支援等に取り組む。男性職員の育児休業取得の推進については、周知啓発に努めるとともに、代替職員の確保や職場全体でのサポート体制の構築など、取得しやすい雰囲気づくりが必要と考えている。

自由民主党・絆
塚 理

初期救急における民間活力導入を

問 初期救急、特に小児初期救急においてファストドクター（※3）等の民間活力を導入することについて、市はどのように考えているのか。導入に向けた研究や検討は行っているのか。

答 現在、府は自宅療養者の緊急往診体制を、他市においては高齢者施設に特化した往診体制をファストドクターに委託している

とのことである。また、小児を含む初期救急への対応として、夜間や休日において、往診やオンライン診療、また、医療相談などが受けられるファストドクター等があり、それらの内容について研究しているところである。



自由民主党・絆
永田 真樹

環境衛生センターとイコクルの調和を

問 環境衛生センターは建設当初から緑化整備を進めているとのことだが、センターの周りの木々がうつそうとしており、整備されているとは思えない状況である。また、建物自体の壁面も変色

し、外観も美しいと言えない。今後、南部地域は「イコクルいばらき」の整備が進んでいくが、近隣の調和・美観の観点から、どのように考えているのか。

答 南部地域のにぎわい形成・環境配慮に資するまちづくり「イコクルいばらき」の整備に合わせて、環境衛生センター内の現況の緑地を活かしつつ、新しい街並みとの調和が取れた改修に向け、関係各課や区画整理組合と連携を図りながら、景観向上の取り組みを進めていく。

いばらき
未来の会
西本 睦子

自治会の加入率向上の取り組みを

問 ライフスタイルの多様化や活動に対する負担感などから、自治会の加入率が伸び悩んでいる。令和5年度にICT活用支援を実施することだが、どのような内容か。また、「いばらき」を活用し、アプリから加入依頼申請を可能にしたり、インフォメーションを流すことで加

次頁へつづく

前頁つぎ

入率の向上につながるのではないかと。

答 自治会活動にICTを取り入れ、新たな担い手の確保につなげるため、会員同士の連絡や回覧板の電子化を図るLINE講座や、気軽に会議の参加が可能となるZoom講座、活動内容の周知を図るホームページ作成講座の実施を考えている。また、「いばライフ」の活用についても、さまざまな加入のきっかけの創出が、加入促進に効果的であることから、取り組みを検討していく。



公明党
青木 順子




2コアをつなぐ東西軸の緑は


問 「みちフル」社会実験で実現性等を検討しているが、おにフルを中心とした2コアを繋ぐ東西軸の緑の創出について、また、東西軸の起点となるJR茨木・阪急茨木市両駅周辺は、市の玄関口として魅力ある景観、緑の起点となるデザインが求められるのではないかと。

答 茨木みちフルプロジェクトでは、癒しや落ち着きを感じら

れる緑を望む意見をいただいており、ストーリーデザインガイドラインの策定に向けた取り組みにおいて、各通りの特性に応じた緑の創出のあり方について検討する。また、駅前という公共性の高い立地においては、デザイン面やしつらえの工夫が必要であると認識しており、今後、整備の進捗に応じて、緑を含めた魅力ある都市空間の確保ができるような方策を検討する。



会派に所属しない議員
桂 睦子



地域計画策定のメリット等は

問 農業経営基盤促進法の改正に伴い、地域の農業者等がその地域の農業の将来を決める「人・農地プラン」が「地域計画」へと名称変更されるが、農業経営への影響や対象地域はどうか。また、計画策定のメリットは何か。

答 令和7年度以降、市街化調整区域内で未策定の地域では、農地貸借を行う場合、原則、耕作権を伴う農地法に基づく貸借手続きしかできなくなる。対象地域は、市街化調整区域内の実行組合、約45地区で地域計画の策定を予定し

令和4年度補正予算を可決

令和4年度3月補正予算が可決されました。なお、採決状況については、13ページの3月定例会議決結果をご参照ください。

- 一般会計補正予算（第7号）
3,118,303千円を追加し、117,832,285千円
- 財産区特別会計補正予算（第1号）
61千円を追加し、4,989,383千円
- 国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）
690,040千円を追加し、27,384,574千円
- 後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）
158,026千円を追加し、4,788,485千円
- 介護保険事業特別会計補正予算（第1号）
348,062千円を減額し、21,497,350千円
- 下水道等事業会計補正予算（第1号）
182,964千円を減額し、10,171,812千円
- 水道事業会計補正予算（第1号）
115,147千円を減額し、7,986,443千円

ている。また、地域農業の将来を地域の方自ら考える良い機会であると認識しており、計画策定に当たって、将来の不安が少しでも解消されるよう、話し合いの場に臨んでいく。



日本共産党
朝田 充



JR茨木駅西口のエスカレーター設置は

問 JR茨木駅西口のエスカレーター設置は、駅前再整備

における一体整備よりも、先行設置、特に西口南側階段への設置が現実的だと指摘してきた。新年度予算において、設置検討の予算を計上しているが、計上額とその内容は。また、いつ頃をめどに結論を出すのか。

答 駅利用者の利便性向上のため、先行設置を検討するもので、朝夕のラッシュ時における輸送能力、工事中の安全確保等の課題について整理する。予算額は検討業務委託料として、1,081万5千円を計上しており、設置場所や人流への影響などを総

合的に検討する。また、結論は、令和5年度において課題整理をし、その結果により、設置の可否を検討していく。



公明党
松本 泰典



物価高騰への支援施策は

問 物価高騰に対応するための中小企業・個人事業主への追加支援として、事業活動支援給付金の第2弾が予定されている。一方で、生活者支援についての追加支援はないようだが、事業者支援と同様に、生活者支援も早急に行う必要があると考える。市民生活や事業者の現状と今後について、どのように認識しているのか。

答 物価高騰等の影響により、市民の生活や事業活動は厳しい状況にあると認識しており、これまで局面に応じたさまざまな支援策を実施し、現在も継続中である。今後も、物価や経済情勢、国の動向等の情報収集に努めるとともに、これまで実施してきた事業の効果を踏まえ、必要となる支援策を検討していく。



大阪維新の会
大野 幾子



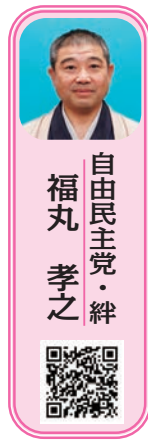
土日親子で過ごせる場所の増設を

問 土日に親子で過ごせる場所について、市の認識はどうか。働き方が多様化した今、曜日を問わず親子が安心して過ごせる場所を地域にもっと増やしていくべきと考える。「つどいの広場」全てを土日も開所することはできないか。また、その場合、市からどのような支援が必要かを調査しはどうか。

答 現在、つどいの広場は20か所のうち9か所が土日どちらかを開所し、3か所が月1回、土曜日を開所している。また、11月に開館予定の「おにクル」は、



土日も開館するため、親子で利用できる場所の一つになると考えている。つどいの広場の土日拡充については、現在、運営いただいている団体の受け入れ体制も確認しながら、拡充に向けて調整していく。



自由民主党・絆
福丸 孝之



子どもたちの居場所づくりを

問 ここ数年、不登校の子どもたちが急激に増えており、多様な居場所を作っていくことが必要

だと考えている。さらにめき講座や公民館講座と連携して受け入れていく取り組みは有効であると思うがどうか。また、教育機会確保法では不登校特例校（※4）の整備を国や自治体の努力義務としている。本市においても設置すべきと考えるが、市の考えはどうか。

答 公共施設での講座等との連携については有効な手法の一つと考えており、実施に向けて、課題の有無等について研究していく。不登校特例校のような居場所についても、その必要性は認識しており、今後、先進事例を参考に研究していく。

令和5年度当初予算を可決

令和5年度当初予算を可決しました。各会計別予算額は下表のとおりです。

なお、採決状況については、13ページの3月定例会議決結果をご参照ください。

会計区分	令和5年度 予算額 (千円)	令和4年度 予算額 (千円)	増減率 (%)	
一般会計	111,200,000	107,690,000	3.3	
特別会計	59,951,045	58,159,727	3.1	
特別会計内訳	財産区計	4,926,863	4,989,322	▲1.3
	国民健康保険事業会計	27,408,588	26,694,534	2.7
	後期高齢者医療事業会計	4,841,385	4,630,459	4.6
	介護保険事業会計	22,774,209	21,845,412	4.3
	下水道等事業会計	10,507,279	10,354,776	1.5
	水道事業会計	9,662,580	8,101,590	19.3
	総計	191,320,904	184,306,093	3.8

市議会

3 月定例会議決結果

(○：賛成、×：反対、－：欠席)

件 名	大 阪 維 新 の 会					公 明 党					自由民主党・絆				日本共産党			いばらき未来の会			会 派 に 所 属 員			結 果			
	岩本守	萩原佳	長谷川浩	円藤こよえ	大野幾子	岡本吉郎	大村卓司	青木順子	松本泰典	河本光宏	坂口康博	福丸孝之	塚理	永田真樹	上田光夫	朝田充	大嶺さやか	畑中剛	西本睦子	稲葉通宣	安孫子浩子	山本由子	辰見直子		米川勝利	山下慶喜	桂睦子
条 例	茨木市非常勤職員の報酬等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	茨木市附属機関設置条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	茨木市文化・子育て複合施設条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	茨木市消費生活センター条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	茨木市市民総合センター条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	茨木市福祉文化会館条例の一部改正等について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	茨木市重度障害者の医療費の助成に関する条例等の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	茨木市国民健康保険条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	茨木市こども育成支援会議条例等の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	茨木市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	茨木市企業立地促進条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	茨木市土砂埋立て等の規制に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	茨木市手数料条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	茨木市建築基準法施行条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	茨木市都市公園条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
そ の 他	動産（フルコンサートグランドピアノ）取得について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	工事請負契約の変更について（市民会館跡地エリア整備事業設計・施工業務）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

可決された意見書

3月定例会で可決された意見書を関係機関に送付しました。

◎認知症の人も家族も安心な社会の構築を求める意見書

1月臨時会議決結果

令和5年第1回臨時会を1月31日に開催しました。
この臨時会では、市長から提出された議案等の審議を行いました。

(○：賛成、×：反対)

件名	大阪維新の会				公明党				自由民主党・絆				日本共産党		いばらき未来の会			会派に所属しない議員			結果						
	岩本守	萩原佳	長谷川浩	円藤さずえ	岡本壱郎	大村卓司	青木順子	松本泰典	河本光宏	坂口康博	福丸孝之	塚理	永田真樹	上田光夫	下野巖	朝田充	大嶺さやか	畑中剛	西本睦子	稲葉通宣		安孫子浩子	山本由子	辰見直子	米川勝利	山下慶喜	桂睦子
専決処分 専決処分につき承認を求めることについて（茨木市個人情報の保護に関する法律施行条例及び茨木市情報公開・個人情報保護審査会条例の一部改正について）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
その他 工事請負契約の変更について（環境衛生センター基幹的設備改良工事）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
補正予算 令和4年度大阪府茨木市一般会計補正予算（第6号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

◆議長（大阪維新の会：大野幾子議員）は採決に加わりません。

◆1月臨時会の議案内容については、市役所南館1階情報ルームに設置している資料をご覧ください。
なお、1月臨時会市長提出案件の概要については、市議会ホームページをご覧ください。

2月臨時会議決結果

令和5年第2回臨時会を2月6日から3日間開催しました。

この臨時会では、市長から提出された議案等の審議をはじめ、正副議長、議会運営委員会委員、各常任委員会委員、各特別委員会委員などの議会役員を選任を行いました。（令和5年4月1日現在の議会構成及び会派構成は15ページに掲載）

(○：賛成、×：反対、除：除斥、－：欠席)

件名	大阪維新の会				公明党				自由民主党・絆				日本共産党		いばらき未来の会			会派に所属しない議員			結果							
	岩本守	萩原佳	長谷川浩	円藤さずえ	大野幾子	岡本壱郎	大村卓司	青木順子	松本泰典	河本光宏	坂口康博	福丸孝之	塚理	永田真樹	上田光夫	下野巖	朝田充	大嶺さやか	畑中剛	西本睦子		稲葉通宣	安孫子浩子	山本由子	辰見直子	米川勝利	山下慶喜	桂睦子
人事案件 茨木市公平委員会委員選任につき同意を求めることについて【今枝史絵氏】	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
茨木市監査委員選任につき同意を求めることについて【坂口康博氏】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	除	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
茨木市監査委員選任につき同意を求めることについて【米川勝利氏】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意

※議長は採決に加わりません。（2月臨時会の会期中に、議長が大野幾子議員から下野巖議員に代わっています。）

議会構成

(令和5年4月1日現在)

議長 下野 巖

副議長 安孫子 浩子

総務常任委員会

委員長 塚本 光宏
副委員長 河本 勝利
委員 米川 勝利
安孫子 浩子
下野 巖
安藤 浩子
円藤 浩子
(欠員1)

文教常任委員会

委員長 福丸 孝之
副委員長 青木 順子
委員 大嶺 さやか
西本 睦子
山下 睦子
桂 慶喜
長谷川 浩子

民生常任委員会

委員長 岩本 守
副委員長 松本 泰典
委員 永田 真樹
朝田 充
辰見 直子
岡本 吉郎
(欠員1)

建設常任委員会

委員長 大村 卓司
副委員長 畑中 剛
委員 山本 由子
上田 光夫
萩原 佳夫
稲葉 通宣
坂口 博

議会運営委員会

委員長 上田 光夫
副委員長 西本 睦子
委員 大嶺 さやか
岡本 吉郎
坂口 康博
長谷川 浩

北部地域整備対策特別委員会

委員長 稲葉 通宣
副委員長 岡本 吉郎
委員 永田 真樹
朝田 充
河本 光宏
円藤 浩子

市街地整備対策特別委員会

委員長 青木 順子
副委員長 萩原 佳夫
委員 畑中 剛
上田 睦子
稲葉 通宣
坂口 博

市民会館跡地等整備対策特別委員会

委員長 福丸 孝之
副委員長 大嶺 さやか
委員 岩本 守
大村 卓司
西本 睦子
松本 泰典

議会広報委員会

委員長 永田 真樹
副委員長 西本 睦子
委員 朝田 充
岩本 泰典
青木 順子
松本 泰典

茨木市監査委員

坂口 康博
米川 勝利

淀川右岸水防事務組合協議会議員

大嶺 さやか

大阪府都市競艇企業団議会議員

下野 巖 (令和5年5月まで)

茨木市都市計画審議会委員

下野 巖
塚本 光宏
大村 卓司
桂 睦子
長谷川 浩子
河本 光宏
円藤 浩子

茨木市土地開発公社理事

永田 真樹
辰見 直子
青木 順子
畑中 剛
岩本 睦子
西本 睦子

茨木市青少年問題協議会委員

福丸 孝之
青木 順子

茨木市空家等対策協議会委員

大村 卓司
畑中 剛

大阪府後期高齢者医療
広域連合議会議員

朝田 充 (令和5年4月まで)

大阪広域水道企業団議会議員

河本 光宏 (令和5年6月まで)

会派構成

(◎は各会派の幹事長)

大阪維新の会

◎円藤 浩子
萩原 佳
岩本 守
長谷川 浩

公明党

◎松本 泰典
大村 卓司
河本 光宏
岡本 吉郎
青木 順子
坂口 康博

自由民主党・絆

◎福丸 孝之
永田 真樹
下野 巖
塚本 光夫
上田 睦子

日本共産党

◎畑中 剛
大嶺 さやか
朝田 充

いばらき未来の会

◎稲葉 通宣
安藤 浩子
西本 睦子

会派に所属しない議員

山本 由子
米川 勝利
桂 睦子
辰見 直子
山下 慶喜